

TLG5002

C5000 シリーズ

タイム&ロゴ ジェネレーター・モジュール

取扱説明書

Ver 1.06



株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。



警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。



■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。



■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。



■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。



■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。



■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



注意

■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。



■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。



■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。



■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。



■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。



■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	8
2. 構成.....	8
3. 機能.....	8
4. ブロック図.....	9
5. 操作説明.....	9
5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示.....	9
5-2. フロントモジュール設定.....	11
6. フレームへの取付方法.....	11
7. SNMP 設定情報.....	12
7-1. 製品情報関連.....	12
7-2. TLG5002 モジュール状態.....	12
7-3. 送出状態.....	13
7-4. ファイル関連.....	14
7-5. TLG5002 モジュール内部状態.....	15
7-6. アラーム出力設定.....	16
7-7. トラップ設定.....	17
7-8. 再起動設定.....	18
7-9. ログ設定.....	18
8. WebControl.....	21
8-1. モジュール画面.....	21
8-2. システム ステータス.....	22
8-2-1. システム状態.....	22
8-2-2. システム出力フォーマット.....	22
8-2-3. システム水平位相オフセット.....	22
8-2-4. システムフレームオフセット.....	22
8-2-5. システムクロックモード.....	22
8-2-6. システム PIO 制御.....	22
8-2-7. システム PIO モード.....	22
8-2-8. システム自動オンエア.....	22
8-2-9. システムリファレンス検出.....	22
8-2-10. リファレンスロック.....	22
8-2-11. システムリファレンスフォーマット.....	22
8-2-12. システムクロック検出.....	22
8-3. 出力ステータス.....	23

8-3-1.	WEB GPI 選択	23
8-3-2.	WEB GPI 実行	23
8-3-3.	レイアウト番号	23
8-3-4.	パターン@時計	23
8-3-5.	パターン@日付	23
8-3-6.	パターン@静止画	23
8-3-7.	パターン@アニメーション 1~4	23
8-3-8.	表示@時計	23
8-3-9.	表示@日付	23
8-3-10.	表示@静止画	23
8-3-11.	表示@アニメーション 1~4	23
8-4.	ファイルステータス	24
8-4-1.	SD カード状態	24
8-4-2.	SD カード アクセスエラー	24
8-4-3.	コンフィグファイル@モジュール	24
8-4-4.	コンフィグファイル@時計	24
8-4-5.	コンフィグファイル@ピクチャ	24
8-4-6.	コンフィグファイル@アニメーション	24
8-4-7.	コンフィグファイル@レイアウト	24
8-4-8.	コンフィグファイル@自動オンエア	24
8-5.	ボードステータス	25
8-5-1.	初期設定に戻す	25
8-5-2.	CPU DIP SW 設定	25
8-5-3.	FPGA DIP SW 設定	25
8-5-4.	CPU 温度エラー	25
8-5-5.	CPU 温度	25
8-5-6.	CPU 温度 高温アラームしきい値設定	25
8-5-7.	FPGA 温度エラー	25
8-5-8.	FPGA 温度	25
8-5-9.	FPGA 温度 高温アラームしきい値設定	25
8-5-10.	ペリフェラル(I2C/SPI)エラー、EEPROM エラー、SPI フラッシュ ROM エラー	25
8-5-11.	SODIMM セルフテストエラー	25
8-5-12.	FPGA FIFO エラー、FPGA 内蔵ラインバッファエラー	25
8-6.	アラーム設定	26
8-6-1.	アラーム@モジュール初期化	26
8-6-2.	アラーム@プレビューモード	26
8-6-3.	アラーム@プレビュークロック	26
8-6-4.	アラーム@リファレンスエラー	26
8-6-5.	アラーム@時間情報喪失	26
8-6-6.	アラーム@ディスプレイ全 OFF	26

8-6-7. アラーム@SD Card 抜き取り	26
8-6-8. アラーム@SD Card アクセスエラー	26
8-6-9. アラーム@設定ファイル喪失	26
8-6-10. アラーム@設定ファイルパースエラー	26
8-6-11. アラーム@CPU/FPGA 高温	27
8-6-12. アラーム@ペリフェラルエラー	27
8-6-13. アラーム@FPGA 内部エラー	27
8-7. トラップ設定	27
8-7-1. トラップ@モジュール状態変更	27
8-7-2. トラップ設定@システム変更	27
8-7-3. トラップ設定@リファレンスエラー	27
8-7-4. トラップ設定@システムクロック変化	27
8-7-5. トラップ設定@現レイアウト変更	27
8-7-6. トラップ設定@ディスプレイ状態	27
8-7-7. トラップ設定@SD Card マウント変更	27
8-7-8. トラップ設定@SD Card アクセスエラー	28
8-7-9. トラップ設定@設定状態変更	28
8-7-10. トラップ設定@CPU/FPGA 高温	28
8-7-11. トラップ設定@ペリフェラルエラー	28
8-7-12. トラップ設定@FPGA 内部エラー	28
8-8. 再起動設定	28
8-8-1. 再起動を許可	28
8-8-2. コントローラーの再起動	28
8-9. ログ設定	28
8-9-1. ログ件数	29
8-9-2. ログ更新時刻	29
8-9-3. ログファイル初期化	29
8-9-4. ログ取得	29
8-10. 製品情報	29
8-10-1. 製品 ID	29
8-10-2. 占有スロット数	29
8-10-3. 製品概要	29
8-10-4. Version (Firmware) 、(Hardware)	29
8-10-5. 別名	29
9. コネクター ピンアサイン表	30
10. 定格および電気的特性	32
11. お問い合わせ	32

1. 概要

- TLG5002 は C5000 モジュールシステムに搭載可能な、タイム&ロゴ ジェネレーター・モジュールです。
- マスター時計の時刻信号から映像信号とキー信号を出力する時刻発生装置です。
- 時・分変わりにエフェクトが設定でき、ロゴなど静止画やアニメーションと合成できます。
- 外部 CG 装置で作成した、時分変わりエフェクトの連番 TGA ファイルをインポートできます。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

TLG5002 は本体と付属品で構成されています。

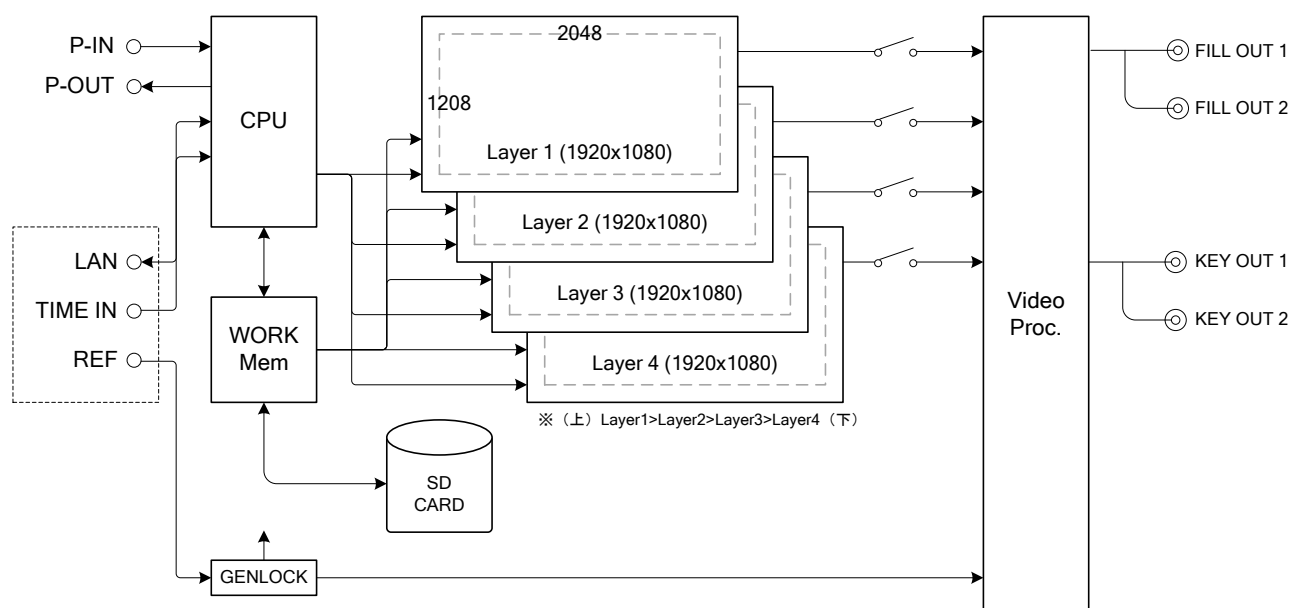
下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品 名	型 名	数 量	備 考
タイム&ロゴ ジェネレーター・モジュール	TLG5002	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

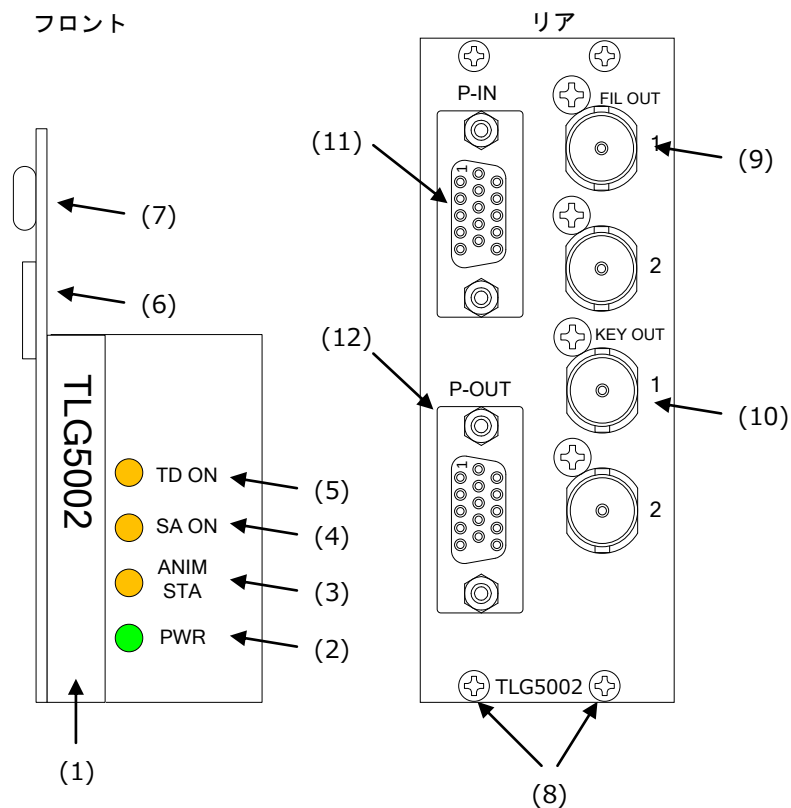
- ・時刻・日付とロゴ（静止画、アニメーション）が表示でき、合成ができます。
- ・時・分変わりにエフェクトができます。
- ・専用アプリケーションを使って簡単にフェード、縦・横回転、カットの各エフェクトを付けることができます。
- ・また、連番 TGA ファイルのインポートに対応していますので、外部 CG 装置で作成された複雑で高度な時分変わりエフェクトも簡単に取り込むことが可能です。
- ・ロゴ（静止画）は最大 1920×1080 ドットで 8 パターンまで登録できます。
- ・アニメーションは 960×540 ドットで 16 秒分の容量があり、8 パターンまで登録できます。
- ・送出画面は 32 面あり、外部接点制御で切り替えができます。
- ・曜日、時間帯別に送出画面を登録して、外部時計に同期して送出する自動送出機能があります。
- ・映像信号は 3G-SDI(1080/59.94p レベル A/B)、HD-SDI(1080i/59.94i)に対応します。

4. ブロック図



5. 操作説明

5 - 1. フロント、リア入出力及び LED 表示



(1) フロントモジュール引き出し取っ手

(2) 電源ランプ 電源投入時 緑点灯

(3)アニメーション実行ステータス LED

アニメーションを実行している	----	橙 点灯
アニメーションを実行していない	----	消灯
マイクロ SD カードからデータ読み込み中	----	橙 点滅

(4)静止画・アニメーション表示ステータス LED

静止画あるいはアニメーションを表示している	----	橙 点灯
静止画あるいはアニメーションを表示していない	----	消灯
マイクロ SD カードからデータ読み込み中	----	橙 点滅

(5)時計・日付表示ステータス LED

時計あるいは日付を表示している	----	橙 点灯
時計あるいは日付を表示していない	----	消灯
マイクロ SD カードからデータ読み込み中	----	橙 点滅

※マイクロ SD カードの読み込みに失敗した場合は、(3)、(5)と(4)の LED が交互に点滅します。

(6)マイクロ SD カードスロット

設定ファイルやイメージファイルを格納するマイクロ SD カードスロットです。

(7)マイクロ A/B USB コネクター

内蔵プログラムアップデート用の USB コネクターです。(本バージョンでは未対応)

(8)リアモジュール固定ネジ 4 カ所

(9)FIL OUT

FILL 信号を出力します。

(10)KEY OUT

KEY 信号を出力します。

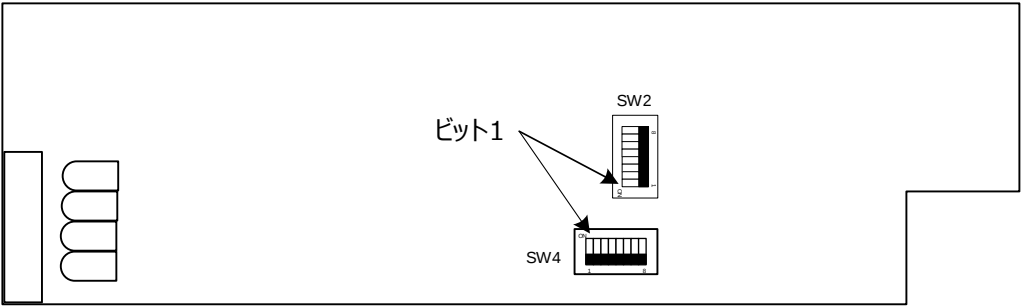
(11)P-IN

外部制御機器と接続し、画面切替、表示の ON/OFF など制御します。

(12)P-OUT

表示画面番号や表示の ON/OFF 状態などステータスを接点出力します。

5 – 2. フロントモジュール設定



SW2 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

SW4 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

6. フレームへの取付方法

- 6-1 リアモジュールをスロットに挿入します。
- 6-2 リアモジュール固定ネジを 4ヶ所止めます。
- 6-3 フロントモジュールを挿入します。リアモジュールの若い番号と同じスロット番号に確実に挿入します。

7. SNMP

TLG5002 は[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.7.]の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得・設定します。

なお、オブジェクト識別子の最後の[x]には TLG5002（本モジュール）が搭載されているスロット番号を指定します。

また、ACCESS 欄の記号は、『RO:読み取り専用』、『R/W:読み書き可能』、を示しています。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。Trap 項目の○は、Get 項目の値が Trap に付加されるオブジェクトであることを示しています。

7-1. 製品情報関連

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.1.x	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	7	
OccupiedSlot 10.1.2.x	INTEGER	RO	4	占有スロット数	2	
ProductDescr 10.1.3.x	OCTET STRING	RO	127	プロダクト説明	<i>“TLG5002 :HD/3G-SDI Time-Logo Generator, Fill x 2 / Key x 2, PIO Control.”</i>	
FwVer 10.1.4.x	OCTET STRING	RO	4	ファームウェアバージョン	—	
HwVer 10.1.5.x	OCTET STRING	RO	4	ハードウェアバージョン	—	
AliasName 10.1.6.x	OCTET STRING	R/W	63	エリアス名	TLG5002	

7-2. TLG5002 モジュール状態

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ModuleStatus 30.1.1.x	INTEGER	RO	4	モジュール動作状態	初期化中=1, 通常動作中=2, プレビューモード=3, テストモード=4, F/W アップデート=5, H/W アップデート=6	○
OutputFormat 30.1.2.x	INTEGER	RO	4	出力フォーマット	1080i59=1, 1080p59LevelA=2, 1080p59LevelB=3	○
PhaseOffsetH 30.1.3.x	INTEGER	RO	4	H 位相	-8～+8	○
FrameOffset 30.1.4.x	INTEGER	RO	4	フレームオフセット	-360～+360	○
ClockMode 30.1.5.x	INTEGER	RO	4	使用している時計信号	外部時計信号=1, 内部プレビュー用時計=2	○

PIOControl 30.1.6.x	INTEGER	RO	4	外部制御の設定	有効=1, 無効=2,	○
PIOMode 30.1.7.x	INTEGER	RO	4	外部制御モード (5bit エンコードモード 2 は 現在未使用)	10bit パラレルモード=1, 5bit エンコードモード 1=2, 5bit エンコードモード 2=3	○
AutoOA 30.1.8.x	INTEGER	RO	4	自動送出の設定	有効=1, 無効=2,	○
ReferenceDetect 30.1.20.x	INTEGER	RO	4	同期信号検出	検出=1, 未検出=2,	
ReferenceLock 30.1.21.x	INTEGER	RO	4	同期信号ロック	ロック=1, アンロック=2,	○
ReferenceFormat 30.1.22.x	INTEGER	RO	4	同期信号フォーマット	不明=1, B.B.=2, 3 値=3,	
ClockDetect 30.1.23.x	INTEGER	RO	4	外部時計信号検出	検出=1, 未検出=2,	○

7 - 3. 送出状態

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentLayout 31.1.30.x	INTEGER	RO	4	現在の送出画面番号	1~32	○
CurrentClock 31.1.31.x	INTEGER	RO	4	現在の時計パターン番号	1~16	○
CurrentDate 31.1.32.x	INTEGER	RO	4	現在の日付パターン番号	1~16	○
CurrentPicture 31.1.33.x	INTEGER	RO	4	現在の静止画パターン番号	1~32	○
CurrentAnimation1 31.1.34.x	INTEGER	RO	4	現在のアニメーションパター ン番号	1~32	○
CurrentAnimation2 31.1.35.x	INTEGER	RO	4	現在のアニメーションパター ン番号 2 (未使用)		○
CurrentAnimation3 31.1.36.x	INTEGER	RO	4	現在のアニメーションパター ン番号 3 (未使用)		○
CurrentAnimation4 31.1.37.x	INTEGER	RO	4	現在のアニメーションパター ン番号 4 (未使用)		○
DisplayClock 31.1.50.x	INTEGER	RO	4	現在の時計表示	表示中=1, 非表示=2,	○
DisplayDate 31.1.51.x	INTEGER	RO	4	現在の日付表示		○
DisplayPicture 31.1.52.x	INTEGER	RO	4	現在の静止画表示	表示中=1, 非表示=2,	○

DisplayAnimation1 31.1.53.x	INTEGER	RO	4	現在のアニメーション表示		○
DisplayAnimation2 31.1.54.x	INTEGER	RO	4	現在のアニメーション表示 2 (未使用)		○
DisplayAnimation3 31.1.55.x	INTEGER	RO	4	現在のアニメーション表示 3 (未使用)		○
DisplayAnimation4 31.1.56.x	INTEGER	RO	4	現在のアニメーション表示 4 (未使用)		○

7-4. ファイル関連

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
SdCardMount 32.1.70.x	INTEGER	RO	4	SD カード実装状態	実装中=1, 未実装=2, マウントエラー=3	○
SdCardAccessError 32.1.71.x	INTEGER	R/W	4	SD カードアクセスエラー回 数	0~2,147,483,647	○
ModuleConfigFileLoad 32.1.80.x	INTEGER	RO	4	モジュール設定ファイル読み 込み状態	読み込み待ち=1, 読み込み完了=2, ファイルなし=3, 解析エラー=4	○
ClockConfigFileLoad 32.1.81.x	INTEGER	RO	4	時計設定ファイル読み込み状 態		○
DateConfigFileLoad 32.1.82.x	INTEGER	RO	4	日付設定ファイル読み込み状 態		○
PictureConfigFileLoad 32.1.83.x	INTEGER	RO	4	静止画設定ファイル読み込み 状態		○
AnimationConfigFileLo ad 32.1.84.x	INTEGER	RO	4	アニメーション設定ファイル 読み込み状態		○
LayoutConfigFileLoad 32.1.85.x	INTEGER	RO	4	送出画面設定ファイル読み込 み状態		○
AutoOACongFileLoad 32.1.86.x	INTEGER	RO	4	自動送出設定ファイル読み込 み状態		○
ClockImageFileLoad 32.1.87.x	INTEGER	RO	4	時計画像ファイル読み込み状 態		○
DateImageFileLoad 32.1.88.x	INTEGER	RO	4	日付画像ファイル読み込み状 態		○
PictureImageFileLoad 32.1.89.x	INTEGER	RO	4	静止画画像ファイル読み込み 状態		○
AnimationImageFileLo ad 32.1.90.x	INTEGER	RO	4	アニメーション画像ファイル 読み込み状態		○

7 - 5. TLG5002 モジュール内部状態

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CpuDipSW 33.1.100.x	INTEGER	RO	4	CPU 用 8bitDipSW 状態 OFF=0	0	
FpgaDipSW 33.1.101.x	INTEGER	RO	4	FPGA 用 8bitDipSW 状態 OFF=0	0	
CpuTemperature 33.1.102.x	INTEGER	RO	4	CPU 温度 (°C)	-128~+127	○
FpgaTemperature 33.1.103.x	INTEGER	RO	4	FPGA 温度 (°C)	-128~+127	○
CpuTemperThd 33.1.104.x	INTEGER	R/W	4	CPU 高温アラームしきい値	-40~ 105 ~+125	
FpgaTemperThd 33.1.105.x	INTEGER	R/W	4	FPGA 高温アラームしきい値	-40~ 80 ~+125	
PeripheralError 33.1.200.x	INTEGER	R/W	4	基板内 IC 間通信エラー	0 ~2,147,483,647	○
EepromError 33.1.201.x	INTEGER	R/W	4	EEPROM アクセスエラー	0 ~2,147,483,647	○
FlashRomError 33.1.202.x	INTEGER	R/W	4	FLASH ROM アクセスエラー	0 ~2,147,483,647	○
FpgaBist 33.1.203.x	INTEGER	RO	4	SO-DIMM 自己診断結果	ok=1, ng=2,	○
FpgaFifoError 33.1.204.x	INTEGER	R/W	4	FPGA 内部回路エラー (映像出力用 FIFO)	0 ~2,147,483,647	○
FpgaLbufError 33.1.205.x	INTEGER	R/W	4	FPGA 内部回路エラー (映像出力用バッファ)	0 ~2,147,483,647	○

7 - 6. アラーム出力設定

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AlmEnModuleInit 1000.1.1.x	INTEGER	R/W	4	初期化中	disable=1, enable=2,	
AlmEnModulePreview 1000.1.2.x	INTEGER	R/W	4	プレビューモード時		
AlmEnModuleFwUpdate 1000.1.3.x	INTEGER	R/W	4	F/W アップデート時		
AlmEnModuleHwUpdate 1000.1.4.x	INTEGER	R/W	4	H/W アップデート時		
AlmEnPreviewClockMode 1000.1.5.x	INTEGER	R/W	4	プレビュー用内部時計使用時		
AlmEnReferenceLost 1000.1.20.x	INTEGER	R/W	4	同期信号未検出時		
AlmEnReferenceUnlock 1000.1.21.x	INTEGER	R/W	4	同期信号アンロック時		
AlmEnReferenceUnknown 1000.1.22.x	INTEGER	R/W	4	同期信号フォーマット不明時		
AlmEnSysClockLost 1000.1.23.x	INTEGER	R/W	4	外部時計信号未検出時		
AlmEnDisplayAllOff 1000.1.50.x	INTEGER	R/W	4	表示が全て OFF 時		
AlmEnSdCardRemoved 1000.1.70.x	INTEGER	R/W	4	SD カード未実装時		
AlmEnSdCardAccessError 1000.1.71.x	INTEGER	R/W	4	SD カードアクセスエラー時		
AlmEnConfigFileMissing 1000.1.72.x	INTEGER	R/W	4	設定ファイル未検出時		
AlmEnConfigFileParseError 1000.1.73.x	INTEGER	R/W	4	設定ファイル解析エラー時		
AlmEnHighTemperature 1000.1.100.x	INTEGER	R/W	4	デバイス高温時		
AlmEnOnBoardError 1000.1.200.x	INTEGER	R/W	4	基板内 IC アクセスエラー時		
AlmEnFpgaError 1000.1.201.x	INTEGER	R/W	4	FPGA 内部エラー発生時		

7-7. トラップ設定

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TrapEnModuleStatusChange 2000.1.1.x	INTEGER	R/W	4	モジュール動作状態変化時	disable=1, enable=2,	
TrapEnSystemSettingChange 2000.1.2.x	INTEGER	R/W	4	モジュール設定変化時		
TrapEnReferenceSignalChange 2000.1.20.x	INTEGER	R/W	4	同期信号状態変化時		
TrapEnSystemClockChange 2000.1.21.x	INTEGER	R/W	4	使用時計信号変更時		
TrapEnCurrentLayoutChange 2000.1.30.x	INTEGER	R/W	4	送出画面切り替え時		
TrapEnDisplayStatusChange 2000.1.50.x	INTEGER	R/W	4	表示・非表示状態変化時		
TrapEnSdCardMountChange 2000.1.70.x	INTEGER	R/W	4	SD カード実装状態変化時		
TrapEnSdCardAccessError 2000.1.71.x	INTEGER	R/W	4	SD カードアクセスエラー発生時		
TrapEnConfigStatusChange 2000.1.80.x	INTEGER	R/W	4	設定ファイル読み込みによる状態変化時		
TrapEnHighTemperature 2000.1.100.x	INTEGER	R/W	4	デバイス高温時		
TrapEnOnBoardError 2000.1.200.x	INTEGER	R/W	4	基板内 IC エラー発生時		
TrapEnFpgaError 2000.1.201.x	INTEGER	R/W	4	FPGA 内部エラー発生時		

7 – 8. 再起動設定

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGER	R/W	4	再起動を許可	no=1 , yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGER	R/W	4	再起動を実行	no=1 , yes=2	

7 – 9. ログ設定

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
LogCount 29.1.10.index	INTEGER	RO	4	ログ件数	0~10000	
LogUpdateTime 29.1.11.index	INTEGER	RO	4	ログ変更時刻	–	
LogReset 29.1.900.index	INTEGER	R/W	4	ログファイル初期化	no=1 , yes=2	

トラップオブジェクト識別子は、TLG5002 は[1.3.6. 1.4.1.47892.1.1.7.0]の後に、以下のオブジェクト識別子でトラップが発行されます。各トラップは、index(Slot 情報)を持つ SNMP 設定情報が添付されます。

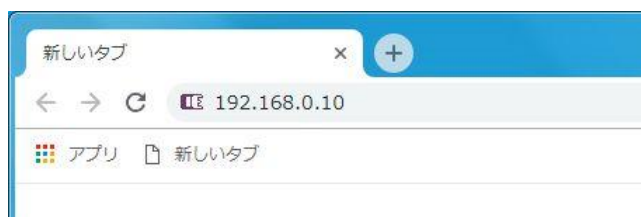
Trap 番号	内容
TrapModuleStatusChange 1	モジュール動作状態が変化することを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: ModuleStatus (30.1.1.index)
TrapSystemSettingChange 2	モジュール設定が変化することを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: OutputFormat (30.1.2.index), PhaseOffsetH(30.1.3.index), FrameOffset(30.1.4.index), ClockMode(30.1.5.index), PIOControl(30.1.6.index), PIOMode(30.1.7.index), AutoOA(30.1.8.index)
TrapReferenceUnlock 20	リファレンスがアンロックになったことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: ReferenceLock (30.1.21.index)
TrapSystemClockChange 21	使用時計信号の変更を示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: ClockDetect (30.1.23.index)
TrapCurrentLayoutChange 30	送出画面を切り替えたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: CurrentLayout (31.1.30.index), CurrentClock (31.1.31.index), CurrentDate (31.1.32.index), CurrentPicture (31.1.33.index), CurrentAnimation1 (31.1.34.index), CurrentAnimation2 (31.1.35.index), CurrentAnimation3 (31.1.36.index), CurrentAnimation4 (31.1.37.index)
TrapDisplayStatusChange 50	表示・非表示状態が変化することを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: DisplayClock (31.1.50.index), DisplayDate (31.1.51.index), DisplayPicture (31.1.52.index), DisplayAnimation1 (31.1.53.index), DisplayAnimation2 (31.1.54.index), DisplayAnimation3 (31.1.55.index), DisplayAnimation4 (31.1.56.index)
TrapSdCardMountChange 70	SD カード実装状態が変化することを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: SdCardMount (32.1.70.index)
TrapSdCardAccessError 71	SD カードアクセスエラーが発生したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: SdCardAccessError (32.1.71.index)

Trap 番号	内容
TrapConfigStatusChange 80	設定ファイル読み込みによる状態が変化したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: ModuleConfigFileLoad (32.1.80.index), ClockConfigFileLoad (32.1.81.index), DateConfigFileLoad (32.1.82.index), PictureConfigFileLoad (32.1.83.index), AnimationConfigFileLoad (32.1.84.index), LayoutConfigFileLoad (32.1.85.index), AutoOACongFileLoad (32.1.86.index), ClockImageFileLoad (32.1.87.index), DateImageFileLoad (32.1.88.index), PictureImageFileLoad (32.1.89.index), AnimationImageFileLoad (32.1.90.index)
TrapHighTemperature 100	デバイスが設定温度以上になったことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: CpuTemperature (33.1.102.index), FpgaTemperature (33.1.103.index)
tlg5002TrapOnBoardError 200	モジュール内デバイスでエラーが発生したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: PeripheralError (33.1.200.index), EepromError (33.1.201.index), FlashRomError (33.1.202.index)
tlg5002TrapFpgaError 201	FPGA 内部エラーがはあ誠したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: FpgaBist (33.1.203.index), FpgaFifoError (33.1.204.index), FpgaLbufError (33.1.205.index)
TrapReferenceLock 220	リファレンスがロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: ReferenceLock (30.1.21.index)

8. WebControl

WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。

TLC5001 の IP アドレス出荷時設定は、“192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092 「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

8 – 1. モジュール画面

TLG5002 が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。



‘+’マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。以下に各項目の説明を記載します。

8 - 2. システム ステータス

TLG5002 モジュールの状態が表示されます。

システム ステータス [-]						12項目
☐ システム状態	通常動作中	☐ システム出力フォーマット	1080i59	☐ システム水平位相オフセット	0	
☐ システムフレームオフセット	0	☐ システムクロックモード	システムクロック	☐ システムPIO制御	有効	
☐ システムPIOモード	ダイレクトモード	☐ システム自動オンエア	無効	☐ システムリファレンス検出	検出	
☐ リファレンスロック	ロック	☐ システムリファレンスフォーマット	525i59	☐ システムクロック検出	検出	

8 - 2 - 1. システム状態

TLG5002 の動作状態を、「初期化中」、「通常動作中」、「プレビューモード」、「テストモード」から表示します。

8 - 2 - 2. システム出力フォーマット

SDI 映像出力フォーマットを「1080i59」、「1080P59A」、「1080P59B」から表示します。

設定は、TLG5002 設定アプリケーションで行います。

8 - 2 - 3. システム水平位相オフセット

SDI 映像出力信号の H 位相を、-8～+8 で表示します。

設定は、TLG5002 設定アプリケーションで行います。

8 - 2 - 4. システムフレームオフセット

外部 RS485 時計に対してのオフセット値を、-180F～180F で表示します。

設定は、TLG5002 設定アプリケーションで行います。

8 - 2 - 5. システムクロックモード

時計モードを「システムクロック」で表示します。

8 - 2 - 6. システム PIO 制御

外部 GPI 制御が「有効」か「無効」かを表示します。

8 - 2 - 7. システム PIO モード

外部 GPI 制御モードが「ダイレクトモード」か「エンコードモード」かを表示します。

設定は、TLG5002 設定アプリケーションで行います。

8 - 2 - 8. システム自動オンエア

イベント送出力が「有効」か「無効」かを表示します。

設定は、TLG5002 設定アプリケーションで行います。

8 - 2 - 9. システムリファレンス検出

リファレンス信号を「検出」か「未検出」かを表示します。

8 - 2 - 10. リファレンスロック

リファレンス信号が「ロック」か「アンロック」かを表示します。

8 - 2 - 11. システムリファレンスフォーマット

リファレンス信号が「525i59」か「1080i59」かを表示します。

8 - 2 - 12. システムクロック検出

外部 RS485 時計が「検出」か「未検出」かを表示します。

8 - 3. 出力ステータス

出力画面について状態を表示します。



出力ステータス [-]						17項目
☐ WEB GPI選択	GPI NONE	☐ WEB GPI実行	実行	☐ レイアウト番号	1	
☐ パターン @ 時計	2	☐ パターン @ 日付	2	☐ パターン @ 静止画	1	
☐ パターン @ アニメーション1	1	☐ パターン @ アニメーション2	1	☐ パターン @ アニメーション3	1	
☐ パターン @ アニメーション4	1	☐ 表示 @ 時計	非表示	☐ 表示 @ 日付	非表示	
☐ 表示 @ 静止画	非表示	☐ 表示 @ アニメーション1	非表示	☐ 表示 @ アニメーション2	非表示	
☐ 表示 @ アニメーション3	非表示	☐ 表示 @ アニメーション4	非表示			

8 - 3 - 1. WEB GPI 選択

GPI 入力と同じ動作を操作します。GPI NONE、GPI01 SEL～GPI10 SEL を選択します。

「WEB GPI 実行」をクリックすると、選択した GPI 番号を実行します。GPI NONE は何も実行しません。

8 - 3 - 2. WEB GPI 実行

WEB GPI 選択を実行します。

8 - 3 - 3. レイアウト番号

現在送出している画面番号 1～32 を表示します。

8 - 3 - 4. パターン@時計

現在の時計パターン番号 1～16 を表示します。

8 - 3 - 5. パターン@日付

現在の日付パターン番号 1～16 を表示します。

8 - 3 - 6. パターン@静止画

現在の静止画パターン番号 1～8 を表示します。

8 - 3 - 7. パターン@アニメーション 1～4

現在のアニメーションパターン番号 1～8 を表示します。

パターン@アニメーション 2、3、4 は未使用です。

8 - 3 - 8. 表示@時計

現在時計を表示しているとき「表示中」、表示していないとき「非表示」を表示します。

8 - 3 - 9. 表示@日付

現在日付を表示しているとき「表示中」、表示していないとき「非表示」を表示します。

8 - 3 - 10. 表示@静止画

現在静止画を表示しているとき「表示中」、表示していないとき「非表示」を表示します。

8 - 3 - 11. 表示@アニメーション 1～4

現在アニメーションを表示しているとき「表示中」、表示していないとき「非表示」を表示します。

表示@アニメーション 2、3、4 は未使用です。

8 - 4. ファイルステータス

SD カードの状態を表示します。



ファイルステータス [-]				8項目	
☐ SDカード状態	ロード済	☐ SDカード アクセスエラー	0	☐ コンフィグファイル @ モジュール	ロード済
☐ コンフィグファイル @ 時計	ロード済	☐ コンフィグファイル @ ピクチャ	ロード済	☐ コンフィグファイル @ アニメーション	ロード済
☐ コンフィグファイル @ レイアウト	ロード済	☐ コンフィグファイル @ 自動オンエア	ロード済		

8 - 4 - 1. SD カード状態

SD カードの状態を「取り外し」(未実装)、「ロード中」、「ロード済」で表示します。

8 - 4 - 2. SD カード アクセスエラー

SD カードアクセス中に発生したエラーをカウントします。

8 - 4 - 3. コンフィグファイル@モジュール

モジュール設定ファイル読み込み状態を「処理待ち」、「ロード中」、「ロード済」から表示します。

8 - 4 - 4. コンフィグファイル@時計

時計ファイル読み込み状態を「処理待ち」、「ロード中」、「ロード済」から表示します。

8 - 4 - 5. コンフィグファイル@ピクチャ

静止画ファイル読み込み状態を「処理待ち」、「ロード中」、「ロード済」から表示します。

8 - 4 - 6. コンフィグファイル@アニメーション

アニメーションファイル読み込み状態を「処理待ち」、「ロード中」、「ロード済」から表示します。

8 - 4 - 7. コンフィグファイル@レイアウト

レイアウト設定ファイル読み込み状態を「処理待ち」、「ロード中」、「ロード済」から表示します。

8 - 4 - 8. コンフィグファイル@自動オンエア

イベントファイル読み込み状態を「処理待ち」、「ロード中」、「ロード済」から表示します。

8 – 5. ボードステータス

TLG5002 モジュールの状態を表示します。



ボードステータス [-]		15項目	
☐ 初期設定に戻す	実行	☐ CPU DIPSW 設定	0x0
☐ CPU温度エラー	正常	☐ CPU温度	55
☐ FPGA温度エラー	正常	☐ FPGA温度	64
☐ CPU温度 高温アラームしきい値設定	75	☐ FPGA温度 高温アラームしきい値設定	80
☐ ペリフェラル(I2C/SPI) エラー	0	☐ EEPROMエラー	0
☐ SODIMM セルフテスト エラー	OK	☐ SPIフラッシュROM エラー	0
☐ FPGA FIFO エラー	0	☐ FPGA 内蔵ラインバッファ エラー	0

8 – 5 – 1. 初期設定に戻す

クリックすることにより工場出荷時の初期設定に戻します。

CPU 温度 高温アラームしきい値設定 = 75、FPGA 温度 高温アラームしきい値設定 = 80

8 – 5 – 2. CPU DIP SW 設定

モジュール基板上の SW2 の状態を 16 進数で表示します。出荷時設定はすべて OFF で 0x0 表示です。

8 – 5 – 3. FPGA DIP SW 設定

モジュール基板上の SW4 の状態を 16 進数で表示します。出荷時設定はすべて OFF で 0x0 表示です。

8 – 5 – 4. CPU 温度エラー

搭載している CPU の内部温度が設定されているしきい値以上になったとき “高温”赤表示、しきい値以内のときに“正常”緑表示となります。

8 – 5 – 5. CPU 温度

搭載している CPU の内部温度を表示します。

8 – 5 – 6. CPU 温度 高温アラームしきい値設定

CPU 温度エラーとする温度のしきい値を設定します。

8 – 5 – 7. FPGA 温度エラー

搭載している FPGA の内部温度が設定されているしきい値以上になったとき “高温”赤表示、しきい値以内のときに“正常”緑表示となります。

8 – 5 – 8. FPGA 温度

搭載している FPGA の内部温度を表示します。

8 – 5 – 9. FPGA 温度 高温アラームしきい値設定

FPGA 温度エラーとする温度のしきい値を設定します。

8 – 5 – 10. ペリフェラル(I2C/SPI)エラー、EEPROM エラー、SPI フラッシュ ROM エラー

I2C/SPI アクセス時や EEPROM アクセス時に発生したエラーをカウントします。(保守用)

8 – 5 – 11. SODIMM セルフテストエラー

起動時に行う SODIMM セルフテストでエラーがないとき「OK」を表示します。(保守用)

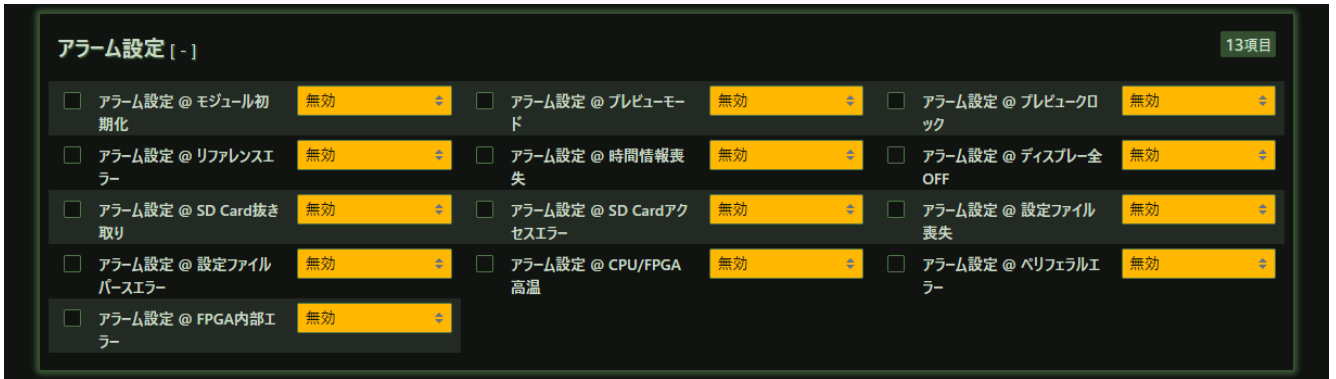
8 – 5 – 12. FPGA FIFO エラー、FPGA 内蔵ラインバッファエラー

FPGA アクセス時に発生したエラーをカウントします。(保守用)

8 - 6. アラーム設定

アラームの設定を行います。

モジュールアラーム出力時は、筐体の左右電源部に搭載されているモジュールアラームが赤点灯します。



8 - 6 - 1. アラーム@モジュール初期化

アラーム設定を有効にした場合、初期化中にエラーが発生した際にモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 2. アラーム@プレビューモード

アラーム設定を有効にした場合、プレビューモードに設定されるとモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 3. アラーム@プレビュークロック

アラーム設定を有効にした場合、内部クロックがプレビューモード用クロックに切り替わるとモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 4. アラーム@リファレンスエラー

アラーム設定を有効にした場合、リファレンス信号状態に変化が発生するとモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 5. アラーム@時間情報喪失

アラーム設定を有効にした場合、TLC5001 からの内部時刻信号が途絶えたときモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 6. アラーム@ディスプレイ全 OFF

アラーム設定を有効にした場合、時計、日付、静止画、アニメーションのすべてが表示していないときモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 7. アラーム@SD Card 抜き取り

アラーム設定を有効にした場合、SD カードが挿入されていないときモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 8. アラーム@SD Card アクセスエラー

アラーム設定を有効にした場合、SD カードのアクセスエラーが発生するとモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 9. アラーム@設定ファイル喪失

アラーム設定を有効にした場合、SD カードに設定ファイルがないときにモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8 - 6 - 10. アラーム@設定ファイルパースエラー

アラーム設定を有効にした場合、設定ファイルの解析中にエラーが発生するとモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

ジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-6-1 1. アラーム@CPU/FPGA 高温

アラーム設定を有効にした場合、CPU/FPGA の内部温度が設定されているしきい値以上になったときモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-6-1 2. アラーム@ペリフェラルエラー

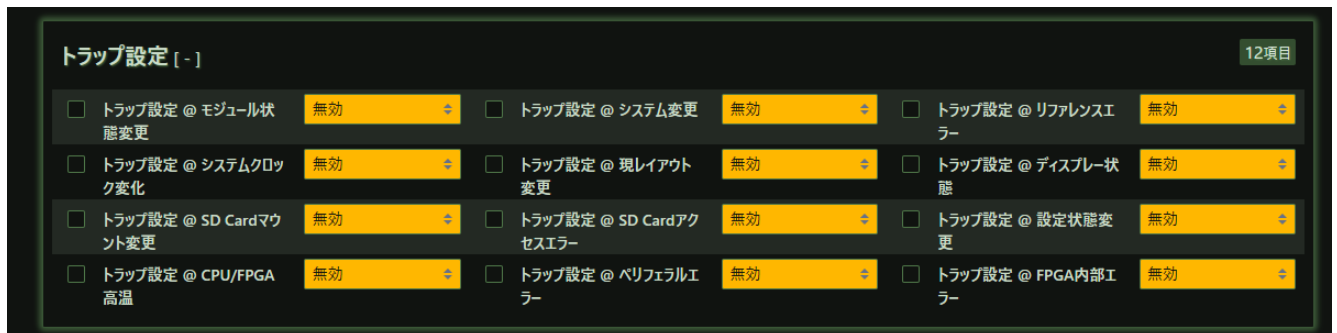
アラーム設定を有効にした場合、I2C/SPI アクセス時や EEPROM アクセス時にエラーが発生するとモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-6-1 3. アラーム@FPGA 内部エラー

アラーム設定を有効にした場合、FPGA アクセス時にエラーが発生するとモジュールアラームを出力します。無効に設定したときは、モジュールアラームを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7. トラップ設定

トラップ発報の有効/無効を設定します。



8-7-1. トラップ@モジュール状態変更

トラップ設定を有効にした場合、モジュールの動作状態に変化があると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMP トラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-2. トラップ設定@システム変更

トラップ設定を有効にした場合、モジュールの設定変更があると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMP トラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-3. トラップ設定@リファレンスエラー

トラップ設定を有効にした場合、リファレンス信号状態に変化が発生すると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMP トラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-4. トラップ設定@システムクロック変化

トラップ設定を有効にした場合、内部時計信号に変化が発生すると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMP トラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-5. トラップ設定@現レイアウト変更

トラップ設定を有効にした場合、送出画面の切替が発生すると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMP トラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-6. トラップ設定@ディスプレイ状態

トラップ設定を有効にした場合、時計、日付、静止画、アニメーションの表示/非表示に変化が発生すると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMP トラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-7. トラップ設定@SD Card マウント変更

トラップ設定を有効にした場合、SD カードの実装状態に変化が発生すると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMP

トラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-8. トラップ設定@SD Card アクセスエラー

トラップ設定を有効にした場合、SDカードのアクセスエラーが発生するとSNMPトラップを出力します。無効に設定したときは、SNMPトラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-9. トラップ設定@設定状態変更

トラップ設定を有効にした場合、設定ファイル読み込みによる状態変化が発生するとSNMPトラップを出力します。無効に設定したときは、SNMPトラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-10. トラップ設定@CPU/FPGA 高温

トラップ設定を有効にした場合、CPU/FPGA の内部温度が設定されているしきい値以上になったとき SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMPトラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-11. トラップ設定@ペリフェラルエラー

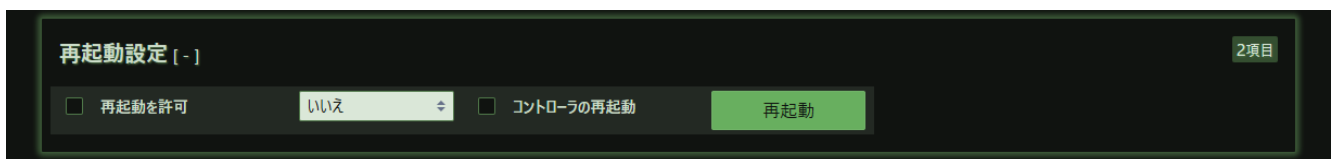
トラップ設定を有効にした場合、I2C/SPI アクセス時や EEPROM アクセス時にエラーが発生すると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMPトラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-7-12. トラップ設定@FPGA 内部エラー

トラップ設定を有効にした場合、FPGA アクセス時にエラーが発生すると SNMP トラップを出力します。無効に設定したときは、SNMPトラップを出力しません。デフォルトは無効に設定されています。

8-8. 再起動設定

コントローラーの再起動を WEB から行うことができます。再起動を行うことにより、SD カードの設定を再読み込みします。



再起動設定 [-] 2項目

☐ 再起動を許可 いいえ ☐ コントローラの再起動 再起動

8-8-1. 再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかをいいえ、はいで設定します。

8-8-2. コントローラーの再起動

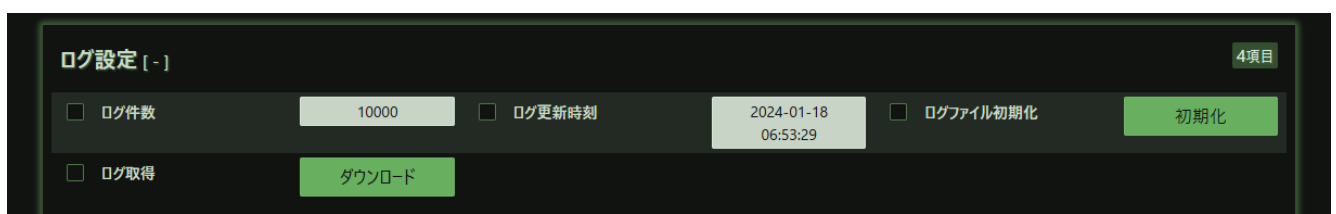
再起動の許可がはいの状態で、再起動をクリックすることによりコントローラーが再起動します。

8-9. ログ設定

ログの初期化、ログのダウンロードを行うことができます。動作中に SD カードを抜くとロギング動作は停止します。再度 SD カードを挿入した後は、コントローラーを再起動してください。ログの時刻はリアルタイム時刻ソースで設定したソースの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

1) ステータス

- ・リファレンス入力のアンロックを含むフォーマットと変化時刻
- ・レイアウト切り替わり時のレイアウト番号、時計、日付、静止画、アニメーションパターン番号と変化時刻



ログ設定 [-] 4項目

☐ ログ件数 10000 ☐ ログ更新時刻 2024-01-18 06:53:29 ☐ ログファイル初期化 初期化

☐ ログ取得 ダウンロード

8-9-1. ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

8-9-2. ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

8-9-3. ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

8-9-4. ログ取得

ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEB を開いている PC にログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx	time	,slt	mode	,OID	,type	,val	Status	Description
120	2025-03-10 09:31:19	11	System	Logging Start v1.3.11				
121	2025-03-10 09:31:20	11	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.7.30.20	INT	1	REF Status	Lock
122	2025-03-10 09:31:22	11	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.7.30.22	INT	2	REF Format	525i59
123	2025-03-10 09:31:48	11	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.7.31.30	INT	1	Pattern	LAYOUT 1
124	2025-03-10 09:31:48	11	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.7.31.30	INT	1	Pattern	LAYOUT 1
125	2025-03-10 09:31:48	11	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.7.30.1	INT	2	MODULE	Normal

8-10. 製品情報

TLG5002 の製品情報が表示されます。



製品情報 [-]		6項目
製品ID	7	製品概要 TLG5002 : 2 slot HD/3G-SDI Time- Logo Generator, Fill x 2 / Key x 2, PIO Control
占有スロット数	2	
Version (Firmware)	1.3.11.0	別名 (最大64文字) TLG5002
Version (Hardware)	1.0.5.0	

8-10-1. 製品 ID

TLG5002 の ID 番号です。TLG5002 は 7 です。

8-10-2. 占有スロット数

TLG5002 をフレームに実装するときに必要なスロット数です。TLG5002 は 2 スロットです。

8-10-3. 製品概要

TLG5002 の機能概要を表示します。

8-10-4. Version (Firmware) 、 (Hardware)

TLG5002 に搭載されている CPU の Firmware バージョンと FPGA の Hardware バージョンです。

8-10-5. 別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMP で名称確認することができます。

9. コネクター ピンアサイン表

外部機器から表示画面の切換や時刻、静止画の ON/OFF がリモート制御できます。

切換制御は、TLG5002 背面の P-IN で行い、P-OUT には現在送出している画面番号を出力します。

1) P-IN

送出画面の切換、時刻/日付・静止画/アニメーションの ON/OFF、アニメーションスタートを接点制御できます。送出画面の切換は、5 ビットのエンコードとストロブ信号で 32 画面を切り換える方法と、10 ビットのビット対応で 1～10 画面を切り換える方法があります。TLG5002 設定アプリケーションで切換制御モードを設定します。

a) 5 ビット + ストロブ信号切換

ピン No.	信 号	機 能
1	B0	5 ビットエンコード指定 画面番号 1～32 : 0～31
2	B1	
3	B2	
4	B3	
5	B4	
6	STROBE	ストロブ
7	B6	未使用
8	B7	未使用
9	B8	未使用
10	B9	未使用
11	TDOFF	時計/日付 0:ON 1:OFF
12	SAOFF	静止画/アニメーション 0:ON 1:OFF
13	ANIMSTA	アニメーションスタート 1:スタート
14	B13	未使用
15	GND	グランド

※「1 : MAKE」、「0 : BREAK」

b) 10 ビット切換

ピン No.	信 号	機 能
1	B0	画面番号 1
2	B1	画面番号 2
3	B2	画面番号 3
4	B3	画面番号 4
5	B4	画面番号 5
6	B5	画面番号 6
7	B6	画面番号 7
8	B7	画面番号 8
9	B8	画面番号 9
10	B9	画面番号 10
11	TDOFF	時計/日付 0:ON 1:OFF

12	SAOFF	静止画/アニメーション 0:ON 1:OFF
13	ANIMSTA	アニメーションスタート 1:スタート
14	B13	未使用
15	GND	グランド

※「1 : MAKE」、「0 : BREAK」

2) P-OUT

現在送出している画面番号、時刻/日付・静止画/アニメーションの表示 ON/OFF、アニメーション実行などステータスを出力します。

a)5ビット+ストローブ信号切換

ピン No.	信 号	機 能
1	B0	送出している画面番号 1～32 : 0～31
2	B1	
3	B2	
4	B3	
5	B4	
6	B5	未使用
7	B6	未使用
8	B7	未使用
9	B8	未使用
10	B9	未使用
11	TDDSP	時計/日付 0:表示していない 1:表示中
12	SADSP	静止画/アニメーション 0:表示していない 1:表示中
13	ANIM	アニメーション 1:実行中
14	B13	未使用
15	GND	グランド

※「1 : MAKE」、「0 : BREAK」

b)10ビット切換

ピン No.	信 号	機 能
1	B0	画面番号 1
2	B1	画面番号 2
3	B2	画面番号 3
4	B3	画面番号 4
5	B4	画面番号 5
6	B5	画面番号 6
7	B6	画面番号 7
8	B7	画面番号 8
9	B8	画面番号 9
10	B9	画面番号 10
11	TDDSP	時計/日付 0:表示していない 1:表示中
12	SADSP	静止画/アニメーション 0:表示していない 1:表示中

13	ANIM	アニメーション 1:実行中
14	B13	未使用
15	GND	グランド

※「1 : MAKE」、「0 : BREAK」

1 0 . 定格および電気的特性

FILL 出力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 59.94p (レベル A/B) HD-SDI 1080/ 59.94i
	コネクタ	BNC×2
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
KEY 出力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 59.94p (レベル A/B) HD-SDI 1080/ 59.94i
	コネクタ	BNC×2
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
P-IN	コネクタ	高密度 Dsub15P メス×1 嵌合台 : インチ ※適合プラグ : D02-M15PG-N-F0 (JAE)
	用途	画面切替、表示 ON/OFF、アニメーション スタート
P-OUT	コネクタ	高密度 Dsub15P メス×1 嵌合台 : インチ ※適合プラグ : D02-M15PG-N-F0 (JAE)
	用途	画面表示ステータス
占有スロット数	2 スロット	
動作環境	0 ℃ ~ 40 ℃ 20 % ~ 85 % (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	15W	
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	0.3kg	

1 1 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp